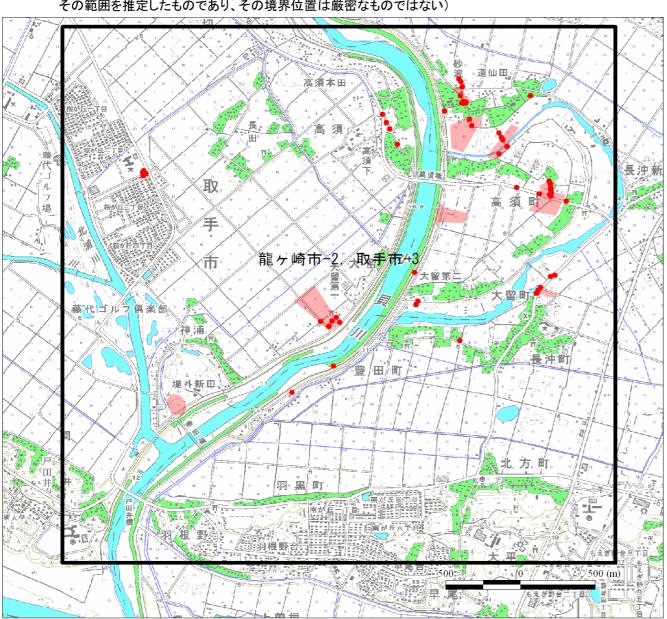
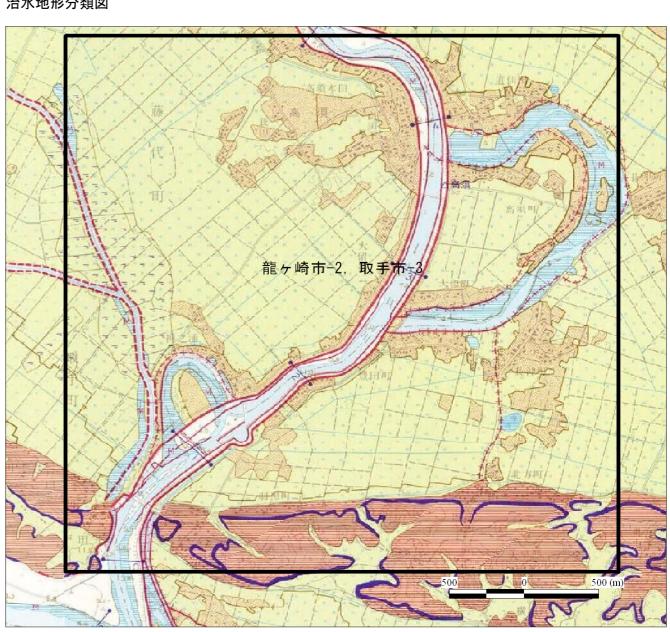
箇所名	龍ヶ崎市-2, 取手	市−3	都道府県	茨城県	市区町村	龍ヶ崎市、	取手市	地区	龍ヶ崎市豊田町、	高須町, 县	長沖町, 川原代	计时,取手市高	須, 大留, 桜が丘	1/6
発生面積	大	地形分類 氾濫平野、	、旧河道、自	然堤防	液状化発	生履歴	なし							
土地改変履歴	桜ケ丘小学校付え	丘には迅速図では湖沼	召が確認され	る。小貝川は河川改	な修されてお	3り、川原代	代町付近は一	・部旧河道にあたる。	0					•
被害概要	農道、水田の沈下	、噴砂。小貝川堤防流	去崩れ220m。	0										
噴砂の状況	大		地盤の変形	量(沈下、傾斜)	大					被害0	D程度	大		
出典·調査	東北地方太平洋》	中地震による関東地方	うの地盤液状	代現象の実態解明	委員会,利	根川下流流	可川事務所							

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、 その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)

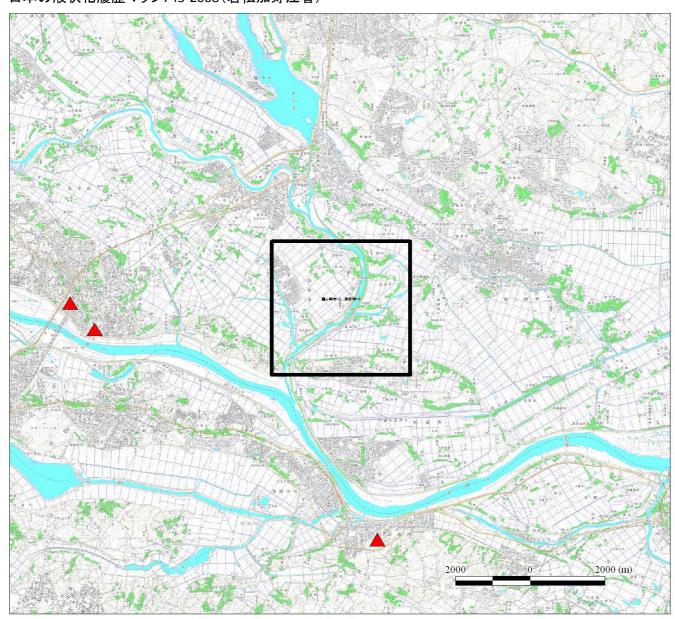


治水地形分類図



箇所名	龍ヶ崎市-2, 取手	市-3	都道府県	茨城県	市区町村	龍ヶ崎市、	取手市	地区	龍ヶ崎市豊田町、高刻	頁町,長沖町,)	川原代町, 取	手市高須, 大留,	桜が丘	2/6
発生面積	大	地形分類 氾濫平野	、旧河道、国	自然堤防	液状化発生	履歴	なし							
土地改変履歴	桜ケ丘小学校付近	「には迅速図では湖	沼が確認され	れる。小貝川は河川改	修されてお	り、川原代	代町付近は一部旧河道	[にあたる。						
被害概要	農道、水田の沈下	、噴砂。小貝川堤防	法崩れ220r	n <sub>o</sub>										
噴砂の状況	大		地盤の変	形量(沈下、傾斜)	大					被害の程度	大			
中曲.調本	<b>事业州大大亚洋河</b>	144雪に ト2問車44・	古の抽般流	<b>比ル羽兔の宝能</b> 解明	조금스 되었	即川下流	司川車茲託							

#### 日本の海状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

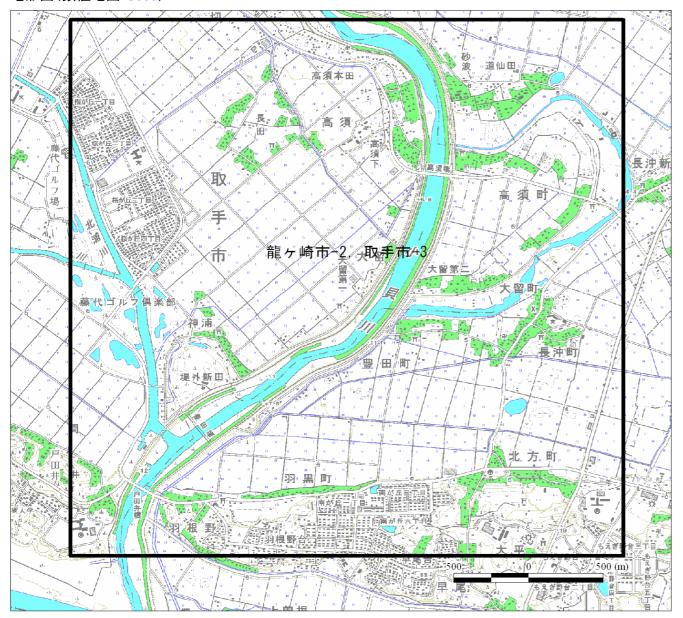


航空写真(2011年3月28日撮影)

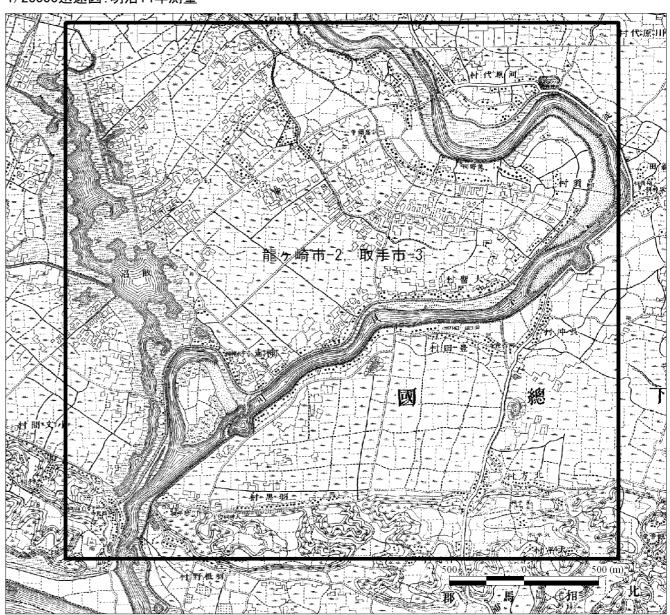


箇所名			都道府県	茨城県	市区町村 龍ヶ崎	崎市、取手市	地区	龍ヶ崎市豊田町、高	高須町, 長沖町,	川原代町,	取手市高須,	, 大留, 桜が丘	3/6
発生面積	大	地形分類 氾濫平野	、旧河道、目	自然堤防	液状化発生履歴	を なし							
土地改変履歴	桜ケ丘小学校付近	丘には迅速図では湖流	召が確認され	れる。小貝川は河川改	「修されており、川	原代町付近は	一部旧河道にあたる。						
被害概要	農道、水田の沈下	、噴砂。小貝川堤防	法崩れ220r	n <sub>o</sub>									
噴砂の状況	大		地盤の変	形量(沈下、傾斜)	大				被害の程度	大			
出曲•調杏	<b>由业州方大亚洋</b> 镇	山地雲による関重地で	5の抽般流	けい 田多の 宝能 解田	禿昌合 利規Ⅲ <sup>-</sup>	下流河川事務可	ŕ				•		

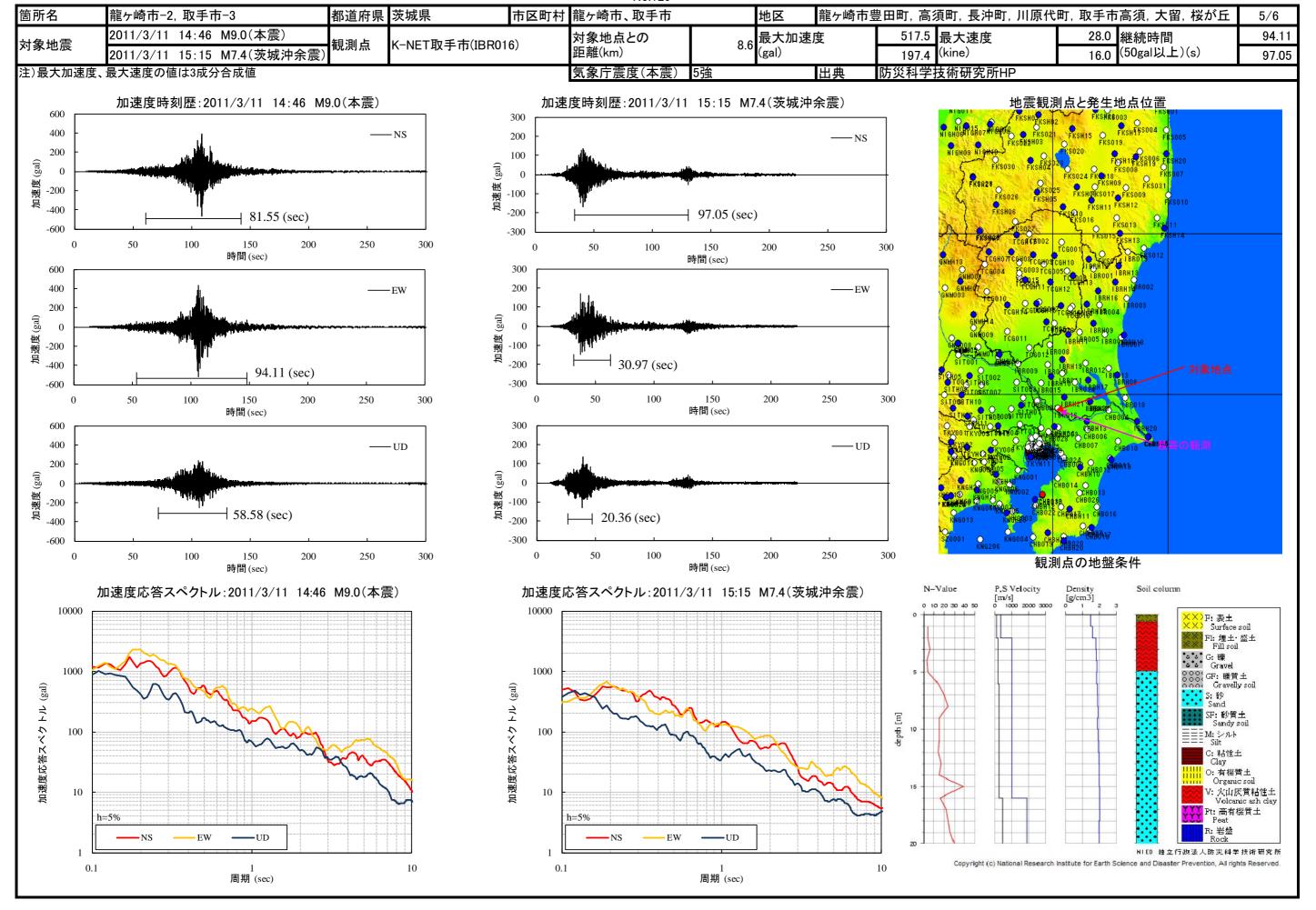
### 地形図(数値地図25000)



## 1/20000迅速図:明治14年測量



						No.129					
箇所名	龍ヶ崎市-2, 取手	<b>≦市−3</b>	都道府県	茨城県	市区町村龍ヶ崎市、	取手市	地区	龍ヶ崎市豊田町、高須田	竹, 長沖町, 川原代	町, 取手市高須, 大	(留, 桜が丘 4/
		液状化対象層(層厚.			3.5m(層厚3~18.5m)		-	-			-
显潤密度ρt			平均粒径[	050		細粒分含有率FC		塑	性指数Ip		
平均N値	1~35		液状化強力			S波速度Vs			対密度Dr		
<b>友</b> 状化抵抗率F			適用基準			液状化指数PL				ì	
和手松隐毒 8	《科学技術研究所:	ジオステーション	THE TOTAL SECTION AND ADDRESS OF THE PARTY O	<b>電ヶ崎南高</b>	A 標高 (m)  20  10  -10  -20  -40	A THE PART OF THE	BOOK TOWN	地質柱状図対比図  「現在状図対比図  「現在のでは、 「	and the state of t	The state of the s	A'標高 (m)



箇所名	龍ヶ崎市-2, 取手市-3	都道府県 茨城県	市区町村	龍ヶ崎市、取手市	地区	龍ヶ崎市豊田町、高須町、長沖	町, 川原代町	, 取手市高須, 大留, 桜が丘	6/6
発生面積	大 地形分類 氾濫平野	、旧河道、自然堤防	液状化発生	主履歴 なし					
土地改変履歴	桜ケ丘小学校付近には迅速図では湖	沼が確認される。小貝川は河川	改修されてお	り、川原代町付近り	は一部旧河道にあたる。				
被害概要	農道、水田の沈下、噴砂。小貝川堤防	法崩れ220m。							
噴砂の状況	大	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程	度   大	•	
出典·調査	東北地方太平洋沖地震による関東地流	方の地盤液状化現象の実態解明	月委員会,利益	根川下流河川事務	所				

先名重樹 (防災科学技術研究所) 2011/4/7~ 古関潤一 (東京大学) 2011/5/20 8 小貝川 2~3 km付近 (右岸)























小貝川2~3km付近(左岸)







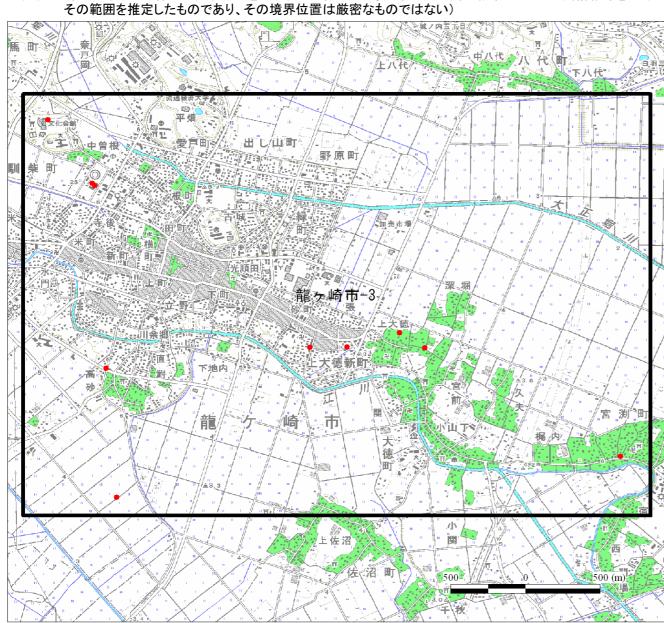


先名重樹(防災科学技術研究所)2011/4/7

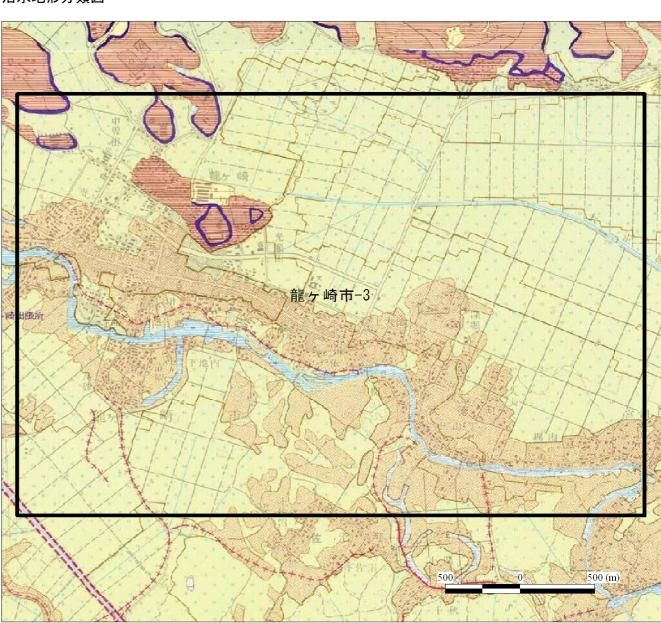


箇所名	龍ヶ崎市-3	都道府県 茨城県	市区町村 龍ヶ崎市	Ī	地区	中曽根,上大徳,上大徳新町,馴柴町,高砂,宮渕町	1/6
発生面積	小 地形分類 自然堤	防、氾濫平野	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし	,		
		i成し宅地化されている。					
被害概要	構造物周辺の沈下						
噴砂の状況	小	地盤の変形量(沈下、傾斜)	中			被害の程度	
出典·調査	災害調査報告(日本大学理工学部建	·築学科)2011/3/30、東北地方太	平洋沖地震による関係	東地方の地盤液状化現象	象の実態解	<b>军明委員会</b>	

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、 その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)



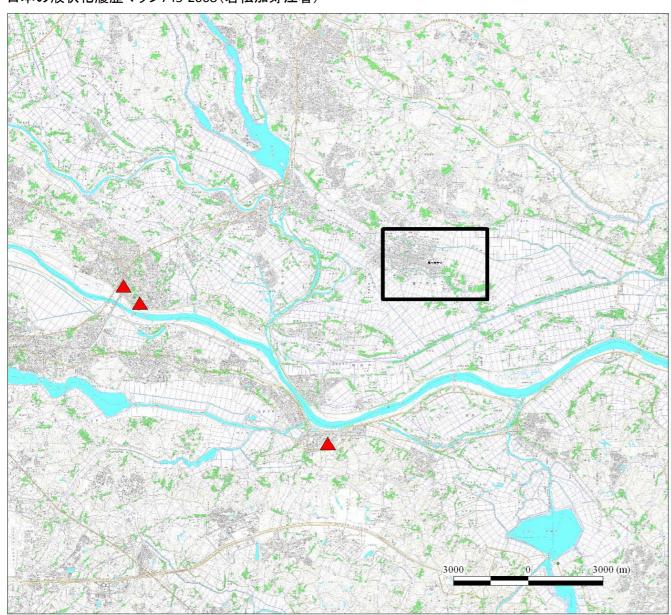
### 治水地形分類図



# No.130

箇所名	龍ヶ崎市-3	都道府県 茨城県	市区町村龍ヶ崎市	地区	中曽根, 上	大徳,上大徳新町,馴柴町,	高砂, 宮渕町	2/6
発生面積	小 地形分類 自然均	是防、氾濫平野	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし				
土地改変履歴		造成し宅地化されている。						
被害概要	構造物周辺の沈下							
噴砂の状況	小	地盤の変形量(沈下、傾斜)	中			被害の程度	中	
出典·調査	災害調査報告(日本大学理工学部	建築学科)2011/3/30、東北地方	太平洋沖地震による関東	[地方の地盤液状化現象の3	実態解明委員会			

#### 日本の海状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)



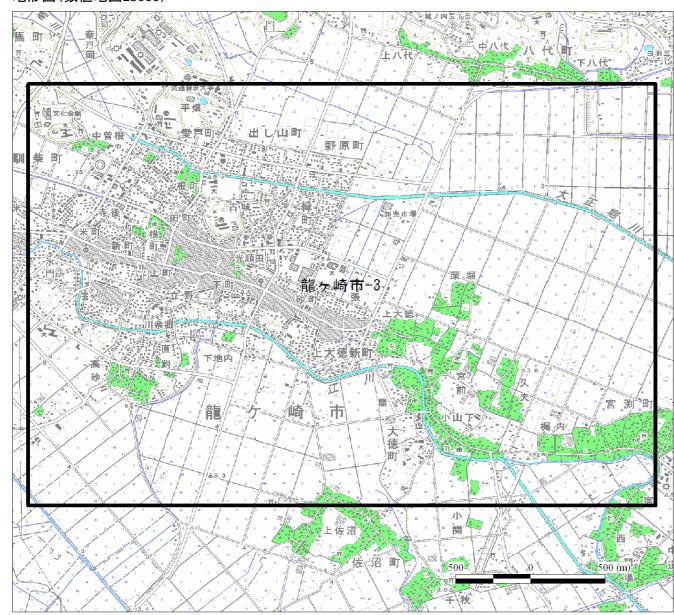
航空写真(2011年3月28日撮影)



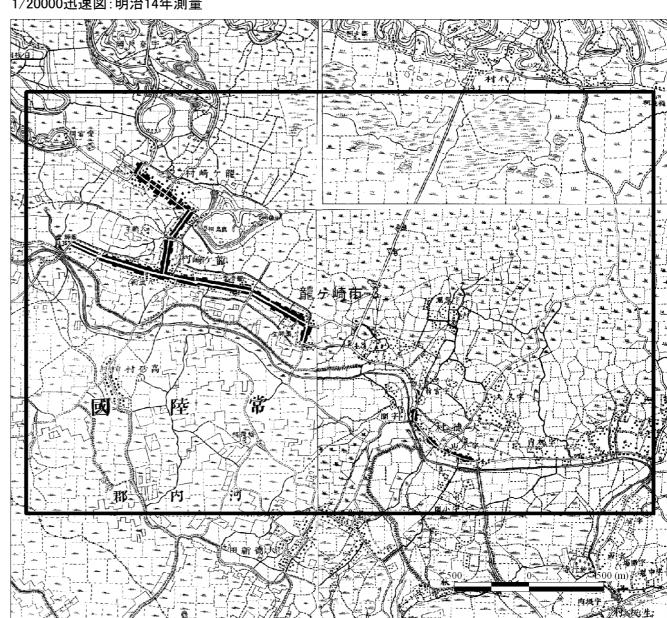
#### No.130

箇所名	龍ヶ崎市-3		都道府県	茨城県	市区町村	龍ヶ崎市		地区	中曽根, 上大徳, 上大徳新町, 馴柴	町, 高砂, 宮渕町	3/6
発生面積	小	地形分類 自然堤防	、氾濫平野		液状化発生	主履歴	液状化発生の履歴な	L			
土地改変履歴	旧氾濫平野、自然	、堤防上の水田を造成	し宅地化され	れている。							
被害概要	構造物周辺の沈										
スツッパル	小			量(沈下、傾斜)	中				被害の程度	中	
出典·調査	災害調査報告(E	本大学理工学部建築	學科)2011/	′3/30、東北地方太ᠴ	P洋沖地震(	こよる関東	地方の地盤液状化現象	象の実態解	<b>邓明委員会</b>		

# 地形図(数値地図25000)



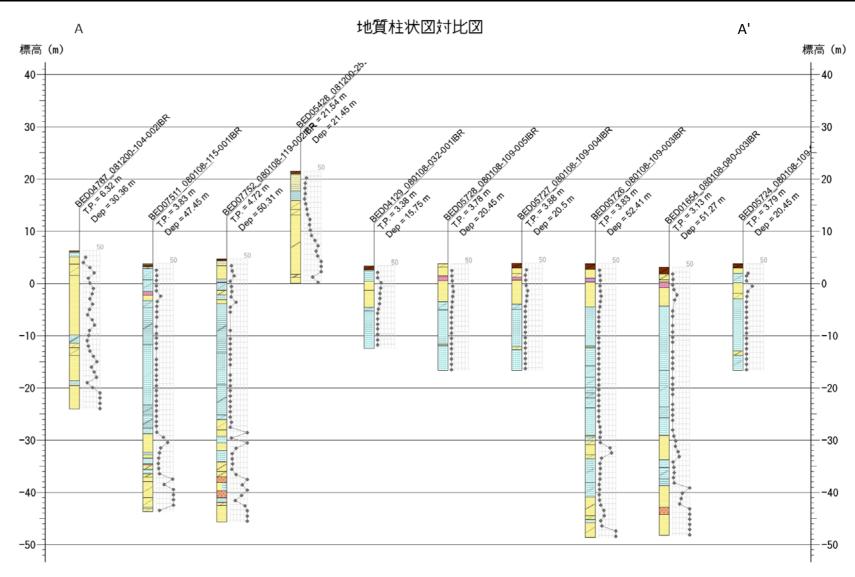
### 1/20000迅速図:明治14年測量

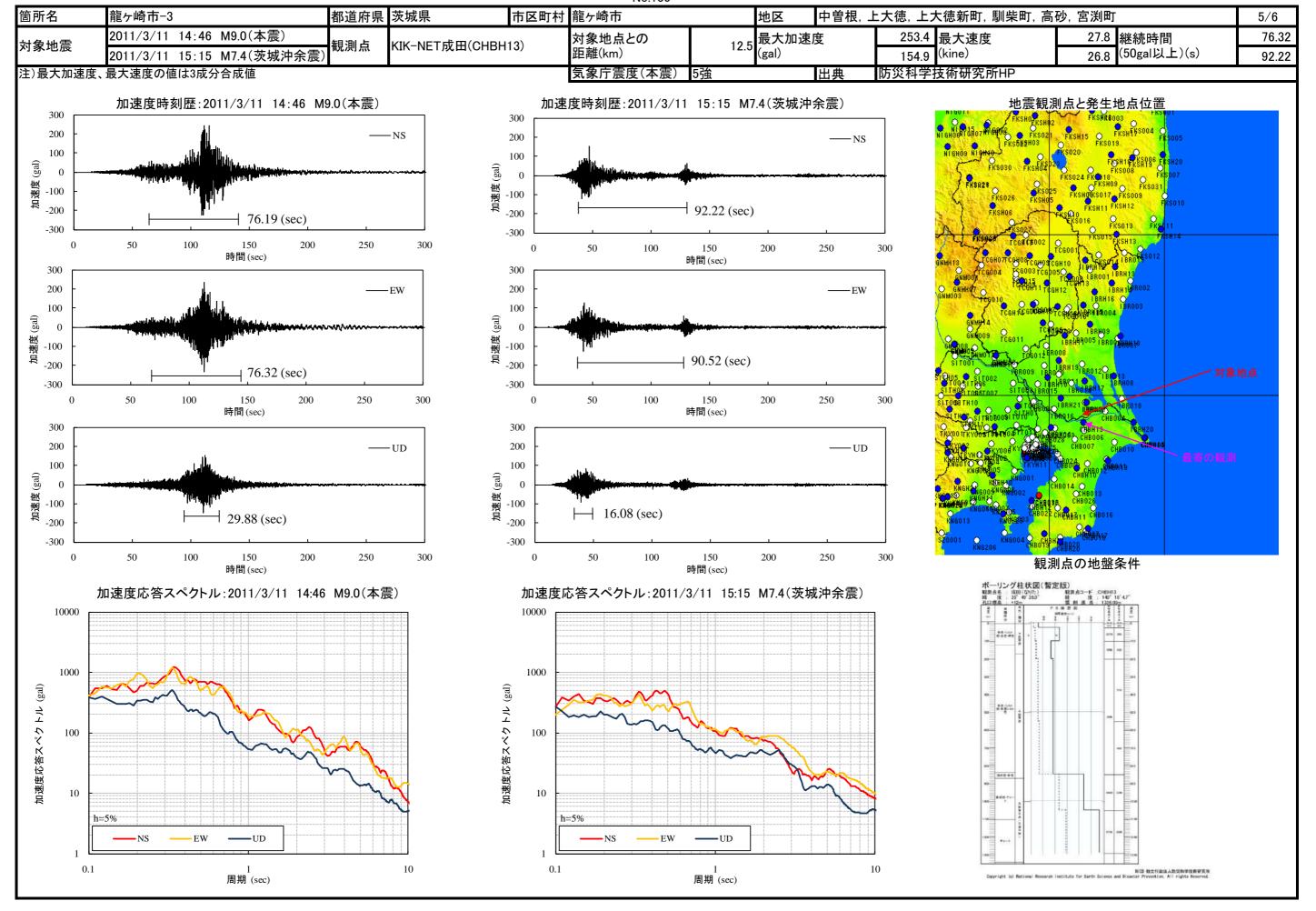


箇所名	龍ヶ崎市-3	都道府県 茨城県	市区町村龍ヶ崎市、	取手市	地区	中曽根, 上大徳, 上大徳新	新町,馴柴町,高砂,	宮渕町	4/6
地下水位	GL-0.2~1.85m 液状化対象層(層	厚、深度) Bs,As,As	c GL-0~20m(層厚7~20m)						
湿潤密度ρt		平均粒径D50		細粒分含有率FC		塑性	生指数Ip		
平均N値	0~35	液状化強度RL20		S波速度Vs		相対	付密度Dr		
液状化抵抗率F		適用基準		液状化指数PL					



出典:防災科学技術研究所ジオステーション





No.130

箇所名	龍ヶ崎市-3	都道府県 茨城県	市区町村 龍ヶ崎市	地区	中曽根,上大徳	点, 上大徳新町, 馴柴町, 高	高砂, 宮渕町	6/6
発生面積	小	地形分類 自然堤防、氾濫平野	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし				
		然堤防上の水田を造成し宅地化されている。		-				
被害概要	構造物周辺の沈	下						
噴砂の状況	小	地盤の変形量(沈下、傾斜)	中			被害の程度	中	
出典·調査	災害調査報告(	日本大学理工学部建築学科)2011/3/30、東北地方	太平洋沖地震による関東	夏地方の地盤液状化現象の実態	《解明委員会	-	_	

災害調査報告(日本大学理工学部建築学科) 2011/3/30





写真 28 地盤沈下による中学校の被害 (光順田地区)